

田口寧氏による映画評論と映画

『私はシベリヤの捕虜だった』上映会

11/23

土

14:00～17:00

法政大学58年館6階 868A

「シベリア抑留」とは何？ソ連時代、冷戦とはどんな時代？そんな疑問を投げかけている映画「私はシベリヤの捕虜だった」（1952・白黒）は、米情報局からの資金提供を受け製作され、今年偶然にも60年ぶりにワシントン米国立公文書館にて発見されました。

田口氏は戦前に米国へ留学。培った語学力と才能で帰国後は米情報局の資金援助を受けPR映画を製作。（1956年ご逝去）今回は、製作者田口修治氏のご子息、寧氏より直接お話が聞けるチャンスです！皆さんと一緒に映画を通して「シベリア抑留」、冷戦、史料映画を学びましょう。



● ゲスト

田口寧氏

映画製作者ご子息(写真は父修治氏)

● 対象

法政大学学部生・大学院生、他どなたでも

● 参加費

無料

寧さんは若くして米国へ映画留学。帰国後も引退まで父親と同じ映画製作に関わった経歴の持ち主です。

問い合わせ

国際文化学部事務

E-mail: jkokusai@hosei.ac.jp

主催：国際文化学部